週刊 観光経済新聞
宿泊・旅行業・運輸・自治体（観光全般）

第2部

高校教育旅行特集

生徒が成長する旅

新定番 瀬戸内海と松山・道後温泉

人や文化と触れ合う交流体験

日本初の国立公園・瀬戸内海は、2014に公園指定80周年を迎える。風光明媚な風土とそこで育まれた歴史や文化、産業は、教育旅行に欠かせない資源だ。そして松山・道後温泉の資源の組み合わせることで、教育旅行先の新定番となった。松山市の取り組みを中心にエリアを紹介する。

進化した教育メニュー

コンセプトと展開

松山市は、修学旅行の受け入れで「生徒が成長する旅」をコンセプトに据え、「成長を実感できる魅力の体験メニュー」として提案に反映させている。換言すると、旅行が内包している「人は旅に出ることによって、その土地の人や文化との交流が生まれ、新しい発見がある」とのポテンシャルを、修学旅行の目的や行動に昇華させたものだ。メニュー化に際しては、教育的視点から地域の資源を磨き上げ、それらをアレンジしてメニュー構成の多様化に努めている。同時に、学校の希望に沿う柔軟な姿勢で提案することにも力点を置いている。

このコンセプトが教育旅行のニーズと合致している証左は、同エリアを訪れる修学旅行生の急増から見てとれる。数年前には修学旅行生を見ることのなかった同市だが、現在では年間50校を超える修学旅行生が訪れている。そうした学校の目的や行動と体験メニューの整合性は、旅行の主体である生徒の満足度から推し測ることができる。ある学校が行ったアンケートでは、生徒の満足度が95%の高い数値を上げていた。さらに、修学旅行を通して始まった学校間交流、授業での体験メニューの採択など、旅行後のさまざまな展開につながっている。

中島での保育園児による修学旅行生の出迎え

瀬戸内海ゾーン

自然環境や第一次産業、水軍文化など多彩な素材

国産農産物の凄さを学ぶ――みかんの島・中島

瀬戸内海に浮かぶ中島は、みかん王国・愛媛を牽引してきた地。全農家のうちみかんに携わる戸数の割合は、県内の島で第1位を誇る。この中島へは、チャーター船を使えば、広島から約1時間で直接上陸できる。修学旅行生には、港で地元保育園児による歓迎が待っている。

みかんに関連するメニューは、JA職員から聞く国産みかんの安全性や技術力、まつやま農林水産物ブランドの誕生秘話のほか、見学では西日本一の能力を誇る選果場を訪ね、体験ではみかんの収穫などがある。収穫時期は9月から12月までの約4カ月間だ。

また、延長500㍍の美しい姫ヶ浜ビーチでは投げ釣りを体験し、釣った魚は昼食の海鮮バーベキューで一緒に焼いて食べることもできる。このほか、地引網や漁船クルージングなどの体験メニューもある。

みかん収穫を通し地元高校生と交流

漁師とのふれあい交流と釣り体験

しまなみ海道での橋上サイクリング

しまなみ海道満喫体験――水軍の里・大島

愛媛県今治と広島県尾道を結ぶ瀬戸内しまなみ海道。今治へは、松山市内から車で1時間。ここから始まる定番のメニューは、世界で唯一の自転車で渡る「橋上サイクリング」だ。瀬戸内海の島々を眺めながらのサイクリングは爽快そのもの。

今治を後に最初に訪れる大島では、昼食の海鮮バーベキューが待っている。体験では、観潮船では、瀬戸内の急流を体感し、自然の力や雄大さに触れる。島内の村上水軍博物館は、日本唯一の水軍博物館。海原を自在に駆けめぐった村上水軍の貴重な文献や出土品から、日本の水軍文化が学べる。

周辺ゾーン

伝統や文化に触れ、環境への理解深める

動物とのふれあいを通した環境学習――とべ動物園

松山市内から車で約30分、隣接する砥部町にある「とべ動物園」は、動物の自然な生態が見られるや森林伐採、密輸など人間が生じさせている環境問題を、動物を通して学ぶ機会にもなっている。

とべ動物園でのふれあい体験

伝統文化と自然（清流）を体感――大洲

六万石の城下町・大洲は、伊予の小京都、水郷のまちとも呼ばれる。伝統と文化、自然が相まって「日本3大鵜飼（うかい）」を今日に伝え、体験学習で鵜飼の鵜匠との交流、和船の「櫓漕ぎ」などにメニュー化された。

また、流れの穏やかな肱川ではカヌー体験ほか、およそ300年前から伝わる郷土料理「いもたき」を、船上や河川敷で食べながら、地元の人々とのふれあい交流も図れる。肱川流域で自然を満喫し、ミシュラン一つ星の臥龍山荘、大洲城などの眺めも楽しめる。

行動展示型で西日本最大級の規模をもつ。

ここでは、日本初の人口哺育に成功したホッキョクグマ・ピースやスローロリスの生態観察だけでなく、実際に人口哺育を担当した飼育員から話を聞くことができる。その話は、地球温暖化や森林伐採、密輸など人間が生じさせている環境問題を、動物を通して学ぶ機会にもなっている。

伝統文化と自然（清流）

夕食前後の和作法プチ研修

たものだ。

実際のメニューとしては、市内を吟行体験する「明治体感！松山はいく～松山城・句会ライブ青春編～」や「松山はいく～道後パワースポットはいく～」などを用意している。また、地元大学生や留学生とふれあい、交流をしながらの吟行体験もできる。

和文化や和の作法を体験――道後温泉

松山市は、主要施設がまちの中心部にコンパクトに納まっている。宿泊先として推奨している道後温泉と各施設は車で10分以内の距離にある。また、宿泊施設の食事やもてなしは、修学旅行生も一般旅行者と同等レベルの扱いと折り紙つきだ。

こうした道後温泉の特色を生かしているのが、宿泊施設や道後商店街と一体になって開発した夜の体験メニュー「プチ研修」と「ぶらり散策」だ。

このうちプチ研修は、夕食前後の時間を利用するもので約15分の研修。会席料理やお座敷のマナー、食育などで構成されている。時間を有効に利用できると好評だ。

一方のぶらり散策は、明治の雰囲気が漂う道後温泉本館をメーンに据えたメニュー。本館前での集合写真や特別料金で乗車できる人力車がセットになっている。

また、俳都・松山ならではの取り組みとして、散策中につくった俳句を商店街などの特設ポストに投句すると、後日、最優秀句にみかんジュースが贈られる特別イベントも行っている。

なお、夜の体験メニューの安全性は、市職員やホテルスタッフが責任を持って確保している。

松山・道後ゾーン

和文化や作法を学び温泉文化も体感する

松山市は「いで湯と城と文学のまち」として知られている。温泉地としての道後温泉は、足を痛めた白鷺が傷を癒した伝説から始まり、癒しの地として神話では少彦名命の病平癒、歴代皇族方も行幸した。その道後で日本最古の湯と呼ばれる「道後温泉本館」は、ミシュランガイドブックでの三つ星最高評価や映画「千と千尋の神隠し」の油屋のモデルとしても有名だ。城については、日本三大平山城に数えられる松山城が、市の中心部に聳えている。本丸のある標高132㍍の勝山山頂からは、瀬戸内海や西日本最高峰の石鎚山まで一望できる。

松山城をバックに留学生との吟行体験の一コマ

文学のまちとしては、俳人正岡子規をはじめとする文人ゆかりの歴史的、文化的資源が町中に多く点在している。

同市には、教育素材として「松山はいく」と名付けたメニューがある。まち歩きを意味する「ハイク」と、事物を洞察して文字にあらわす「俳句」の学びの視点を取り入れたものだ。

プチ散策で本館前の集合写真撮影（右上）の後、人力車を体験（上）

チャーター船による有意義で効率的な移動

ルートとモデルコース提案

愛媛県外から松山市を訪れるには、海路や陸路などさまざまだ。そこで同市では、多様なモデルコース作りに取り組み、その充実に努めている。

一例として「広島―松山ルート」（上図・200人モデル）がある。同区間には定期便も運行されているが、チャーター船を利用することで、自由度の高いコース設定、あるいはスムーズな移動ができたと好評だ。このほか、山口県東南部にある周防大島でマリン体験や漁業体験、民泊体験を行い、チャーター船で松山へ入るコースもある。

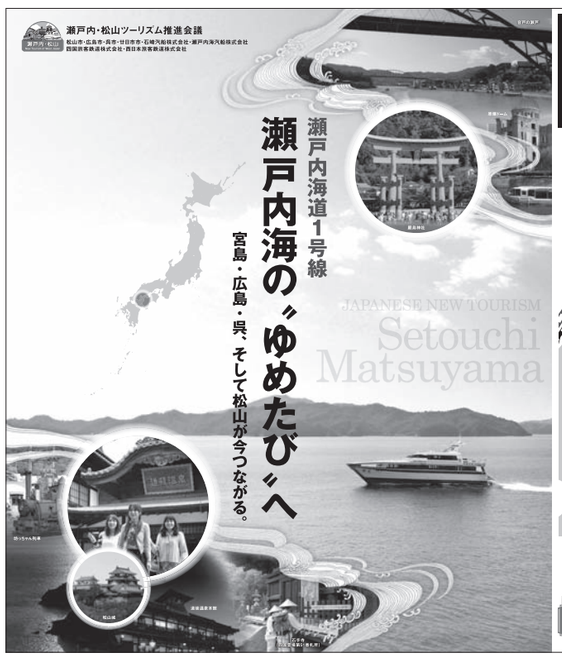
また、最近は民泊体験や平和学習との組み合わせ需要が増え、それにも対応している。バス利用のモデルコースでは、明石海峡大橋を渡り、四国のほぼ中心に位置する徳島県西部の「そらの郷」で山村暮らし体験や民泊体験を行った後に、松山入り。帰りは、瀬戸内の資源が集約しているしまなみ海道を利用し、帰路へ着く充実のコースだ。

スーパージェット
定員：150人
所用時間：広島―中島 55分／広島―松山 70分／宮島―中島 55分／宮島―松山 70分

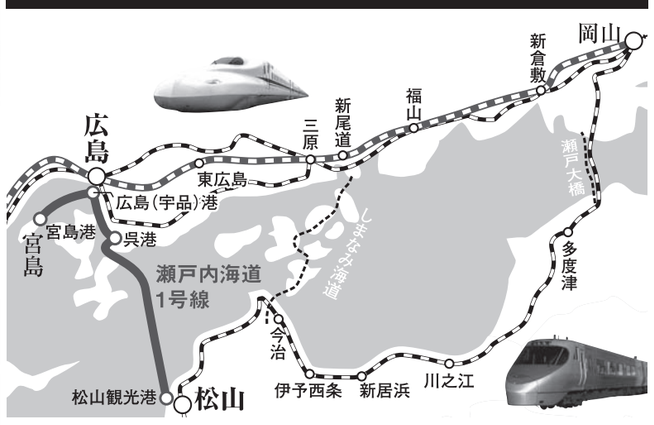
高速艇
定員：88人
所用時間：広島―中島 80分／広島―松山 90分／宮島―中島 95分／宮島―松山 110分

フェリー
定員：270人
所用時間：広島―中島 130分／広島―松山 150分／宮島―中島 150分／宮島―松山 165分

― 協力 ―
松山市産業経済部観光産業振興課
〒790-8571　愛媛県松山市二番町4-7-2
TEL089-948-6558　FAX089-934-1764
教育旅行専用HP
おいでんか 松山　検索



2014年に向けて、瀬戸内・松山に注目が集まる。
2014年　瀬戸内海国立公園指定80周年
2014年　道後温泉本館建設120周年
2014年　四国八十八ヶ所霊場開創1200年



瀬戸内・松山ツーリズム推進会議
松山市・広島市・呉市・廿日市市・石崎汽船株式会社・瀬戸内海汽船株式会社
四国旅客鉄道株式会社・西日本旅客鉄道株式会社

松山 ガイドと行くまち歩き はいく
ガイドと歩くから楽しい！バリエーション豊富な観光まち歩き
グループ旅行　学校旅行　企業研修にも対応！
オリジナルプランをご用意できます。
観光まち歩きなら、『松山はいく』にお任せください。

1200年祭間近（まぢか）！『お遍路プチ体験』
2014年は四国遍路開創1200年の記念の年！
本格的なお遍路をいきなり始めるのではなく、まずは五十一番札所石手寺にお参りして、プチ遍路気分を満喫しませんか？
所要時間：1時間30分　道後エリア
立ち寄りpoint：カラクリ時計・放生園・石手寺衛門三郎石像・国宝二王門・三重の塔・マントラ洞窟・奥の院
出発・解散：
午前：道後温泉駅前・カラクリ時計（9：30出発）　（11：00解散）
午後：道後温泉駅前・カラクリ時計（13：30出発）　（15：00解散）
ご案内料金：通常1，000円のところ、2014年までお一人様500円（2名様以上で催行）

八幡（はちまん）様で縁結び ～135段上（のぼ）って運気↑（アップ）～
知る人ぞ知る道後の開運スポットを巡って運気をグンっと上げましょう！
135段の長い石段をひとつずつ上り、一心に願えば、きっと・・・。
所要時間：1時間　道後エリア
立ち寄りpoint：カラクリ時計・放生園・伊佐爾波神社・円満寺・湯の大地蔵尊・道後温泉本館玉の石
出発・解散：
道後温泉駅前・カラクリ時計（16：00出発）（17：00解散）
ご案内料金：お一人様1，000円

お申し込み・お問い合わせは
『松山はいく』事務局
TEL：089－945－6445（平日10：00～17：00）
http://matsuyamahaiku.jp/